



会津放射能情報センターNEWS

27号



〒965-0877 福島県会津若松市西栄町 8-36

TEL & FAX : 0242-23-9401

メール : info@aizu-center.org ホームページ : <http://aizu-center.org>

公式ブログサイト : <http://ameblo.jp/mamorukai-aizu/>

Face book : 「会津放射能情報センター」で検索

2018年12月7日発行

ノーマ・フィールドさん学習会『マンハッタン計画 76年目』 7月19日(木)



アメリカの日本研究者として知られるノーマ・フィールドさん(シカゴ大学名誉教授)が、原発事故被災者の聞き取り調査のために来日され、武藤類子さんや研究のため来日しているトミー・バーケットさんお二人のご縁により、若松栄町教会を会場にセンター主催の学習会を開いていただいた。

「マンハッタン計画」とは、第二次世界大戦中のアメリカで、科学者を総動員して進められた核開発計画で、45年7月ニューメキシコ州アラモゴードで史上初の核実験が行われ、8月6日広島に、同9日長崎に原爆が投下された。アメリカの核関連施設の周辺では、開発当初より核汚染が広まり、健康被害も出ていたが、それらが核開発に起因するものとは知らされなかった。アメリカ勝利の陰には、自国民の命をも犠牲にする…76年経た今の福島と重なる。ノーマ・フィールドさんの鋭くも温かい眼差しに勇気づけられた。

(酒井恭子)

第8回会津放射能情報センター総会

第8回会津放射能情報センター総会が、10月27日(土)10時よりセンター2階にて開催され、18名の会員が出席。代表の片岡輝美と各部の担当者から、7期活動の総括と8期に向けての指針が報告されました。

保養に参加した子どもの保護者会員からは、子どもを安心して保養に参加させることができる喜びと支援者への感謝の声が次々と発表され、センター活動の大きな柱である保養プログラムの重要性を会員同士で再認識する場となりました。



感謝の言葉を述べる保養参加者の重松さん。

さようなら。そして、ありがとう。

トミー・バーケット

もうこんな時期になってしまいました…。冬になり、少し暖かい場所にふわふわ～と飛んでいくような妖精になってしまいました。紫陽花が青く染まる頃に会津に引っ越し、幸せな8ヶ月を過ごせました。ここで暮らし、ここを拠点に調査を行い、自分の「仕事」を探し出せたと感じます。保養やセンターの繋がりで子どもたちと一緒にいられる喜びも、一人一人を知ることの嬉しさも、人生の中で大きな気付きとなりました。

他人を長期間、受け入れることには普段、ためらいがあるかと思いますが、センターがそのように新しい関係性にひらけている感覚を持ってくださり、感謝の言葉がありません。特に、スタッフと片岡輝美さま、舘也さまにお礼を深く申し上げます。初めて泊まらせていただいた時から、研究者としてだけではなく、一人の人間として受け入れてくださいました。自分と他人を大事にすることを忘れずにと教えてくださって、本当にありがとうございました。拠点は変わりますが、センターと関わり続けられるよう、願っています。

掛け替えのない時間をどうもありがとうございました。



コロンビア大学院生。研究のためセンターに8ヶ月滞在。1月より拠点を浜通りに移し研究を続ける。



優しくて頑張り屋の彼女はみんなを笑顔にしてくれました。ありがとうトミー。また逢う日まで。



皆さんこんにちは。2018 年 8 月 27 日～9 月 8 日の 13 日間、会津放射能情報センター（以下、情報センター）の 1 階に寝泊まりさせてもらいながら、情報センターにお邪魔していました佐久川恵美です。京都にある同志社大学の修士課程 2 年生で、福島原発事故が引き起こした物事と折り合いを付けながら暮らしを営むことについて考えています。

私は 2011 年の福島原発事故を目の当たりにして、京都に居ながら、居ても立っても居られない感覚を抱きました。その感覚はあくまでも、放射性物質が大量に広範囲に広がっている現実において自分がどうやって暮らしていくかという危機感でした。そこから原子力の歴史や原爆と原発の関係について学びはじめ、様々な方にお会いするなかで、縁があって情報センターの皆さんと出会うことが出来ました。

京都に戻った今、情報センターで過ごした日々を思い返すと、部屋の真ん中にある大きな木の机を思い浮かべます。8 人ほどで囲めるその机には、これまで情報センターに足を運んできた様々な人の言葉が降り積もっているように感じます。その机を囲んで、情報センター設立の経緯や情報センターで働く方々のお話を伺う時もあれば、自分の話をする時もありました。お弁当やお菓子を食べながら他愛ないおしゃべりをし、様々な地域から訪れる方々とも机を囲みました。会話の度に机の上に言葉が降り積もっていき、その分だけ言葉に込められた一人ひとりの記憶や感情や経験、言葉にできない(しない)想いさえも積もっていくようでした。

情報センターNEWS 第 3 号には、情報センターで開かれるしゃべり場について、「個人的なレベルでは耐えられないもの」を共有し共感する場と記されています。共有し共感する場は、自分の心配や感情や考えを自分の言葉で表現できる場だと思いますが、その場は、しゃべり場の時間だけには留まらないように感じました。放射線量が原発事故前よりある程度高くなったとしてもその地で暮らしていくために、とりあえず集い語り合い、そこから動き始め、測定し記録し発信し、また語り合っていく、そのような行為の繰り返し、「個人的なレベルでは耐えられない」現実をなんとかしようとする動きに繋がっているように思います。なんとかしようとするというのは、暮らしの中で、少しでも納得できる選択肢をなんとかつくりだそうとする動きでもあるように思います。

空間や食品、土壌などを測定し記録し発信することによって五感で感じとれない放射線を可視化し、それらの繰り返しにより積み重なっていく情報と、机に降り積もっていく言葉が相まって、情報センターという場は、原発事故が引き起こす物事と折り合いをつける方法を模索する場であり、知恵がつくられていく場でもあるように感じました。ですが、そこには放射線影響の曖昧さや不確定さがいつもつきまとうように思います。だからこそ、断定せずに固定化せずに、一人ではなく複数で語り合う場が必要なのでしょう。

来年の冬に、情報センターで出会った人々の言葉と私の言葉を詰めこんだ修士論文をもっていこうと思います。情報センターの机に降り積もる言葉の一つになれば幸いです。



センターへようこそ！



センターには国内外を問わずたくさんのお客様がいらっしゃいます。福島の実状を学びたいと訪れる方々は、原発事故がうやむやにされがちな現状に差し込む希望です。後半期に来館された方々の一部をご紹介します。



たくさんのご支援を
ありがとうございます。



支援品でカレーパーティー！



会員募集と年会費納入に関するお願い

これまでのお支えに深く感謝いたします。

会費や協賛金のご送金は、なるべく「ゆうちょ銀行払込取扱票」をご利用ください。納付状況などご不明の点があればセンターまでお問い合わせください。また払込取扱票をご入用の方はお送りしますのでご連絡ください。

○年会費 個人:3000 円 団体:5000 円

○振込先のご案内

<ゆうちょ銀行口座>

記号 02270-2 番号 116030

振込先名:会津放射能情報センター

<他銀行からゆうちょ口座への送金場合>

店名:二二九 店番:229

預金種目:当座預金 口座番号:0116030

■9月

- 01日 小林恒司医師しゃべり場 8名 個別相談 1名
 03日 MP市民の会第8回運営会議
 06日 センター役員会
 07日 来館 伏見香代さん
 08日 報告 生活クラブ甲状腺検査活動 2017 報告会
 60名 東京 片岡輝美
 13日 しゃべり場 12名
 13日～14日 山崎知行医師個別相談 4名
 13日 来館 プナール・デミルジャンさん(フリージャーナリスト 反原発活動家 環境政治学研究者)藤岡恵美子さん(福島地球市民発伝所)しゃべり場ミニ学習会「トルコの反原発運動について」
 20日 再開第43回東京電力交渉
 脱原発福島ネットワーク いわき市 片岡輝美
 22日 来館 東洋英和福島の子ども支援プロジェクト 6名
 26日 MP市民の会第9回運営会議

■10月

- 03日 来館 須藤昭男さん(インマヌエル松山キリスト教会牧師・伊方原発を止める会共同代表)
 06日 小林恒司医師しゃべり場 6名 個別相談 1名
 10日 しゃべり場 5名
 10日 センター役員会
 15日 第10回MP市民の会運営会議
 16日 第16回子ども脱被ばく裁判
 18日 子ども被災者支援法国会議員連盟意見交換会
 衆議院議員第一会館
 19日 来館 東京教区南支区 13名
 24日 来館 梶原和代さん
 27日 第8回会津放射能情報センター総会 18名

■11月

- 05日 第11回MP市民の会運営会議
 07日 来館 Altadena Community Church, UCC trip to Japan10名
 12日 第12回MP市民の会運営会議
 16日 来館 キリスト教保育所同盟・京都16名
 16日～17日 山崎知行医師しゃべり場6名 個別相談1名
 29日 センター役員会

■12月

- 01日 小林恒司医師しゃべり場7名 個別相談2名
 ヨーク・ケーネンズさんミニ学習会「福島原発事故後の市民科学について」
 06日 面談 CGMB(共同世界宣教局)東アジア担当者3名
 片岡輝美
 07日 第3回原子力規制庁交渉@参議院議員会館
 MP市民の会 片岡輝美
 08日 トミー・バーケットさん報告会26名
 センター大掃除 トミーさん送別昼食会
 11日 第17回子ども脱被ばく裁判
 22日～1月8日 冬期休館
 26日～27日 東電元幹部刑事裁判 片岡輝美

■リアルタイム線量計「ポイントキャスト」を導入

センター入り口に設置されたポイントキャスト。直接数値を目視できるほか、ネットを通じて「いつでも」「誰でも」この空間線量が確認できます。センターHPからも確認できます。



モニターは入り口内側上部に、感応センサーは入り口外側上部に設置。

■感謝報告(2018年9/1～11/30)

いつも当センターをお支えくださり、ありがとうございます。会費・協賛金および支援品によりお支えくださった方々のお名前を、敬称略で記載いたします。特記なき教会は日本基督教団です。万が一、記載落としがありましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。

■個人

森言一郎 伊藤三和 岩下潔 飯沼一元 水野秀治郎 小関京子 安孫子発代 猪刈由紀 横山義弘 横山恵子 八木原敬一 島香美 竹内和夫 佐久川恵美 平田より子 沖田忠子 加藤陽子 田中暁美 栗原通子 東海林裕美 木村愛美 大橋悦子 出羽利光 石川正子 小林米子 大倉一美 木村はるみ 菅野円 中川秀 河原田美哉子 長谷川敏夫 梶原美穂 佐藤美穂 依光隆明 依光絵史 阪本史子 武田隆雄 寺島順子 ジャイルズ恵 矢野寛子 山崎知行 青木宏子 西川幸作 大木正人 長坂ゆり子 前川圭子 新井ななえ 長井美歌 渡部政子 東谷誠 荒瀬牧彦 安藤節子 岡野正 岡野裕恵 林誠子 松岡孝司 松岡佐和子 加藤千代 田伏和子 中里見博 大束晋 田鎖夕衣子 飯沼敬子 小坂橋秀見 池田春善 小林明 寺田美和子 今田かおる 高橋雅子 一木千鶴子 佐久間愛 倉橋佐江子 市川真紀 岩高澄 蓮尾公子 春木谷恵 阿部順子 山崎陽子 福田正美 杉岡ひとみ 清水英男 五十嵐こず恵 居谷教子 小出敏市 立岩秀彦 木村美紀 宮崎ひろ 鴨下加代子 渡部明江 島村紀美子 佐々木基文 山口和枝 中村光一 宮崎義章 富塚元夫 牟田青子 牧野正子 安井修二 林京子 金澤正善 伊藤三和 大竹隆 松田光代 山本裕司 斎藤成二 吉川綾 島田知子 佐瀬朋子 酒井恭子 小沼紘美 齋藤久美子 小林由美子 渡邊純枝 片岡謁也 片岡輝美 重松則子 白井康之 佐々木昭代 渡部里美 林巖雄 安間ちよう子 渡辺洋子 大竹桃子 鈴木真弓 五十嵐進 横山幹央 山口朗 廣野記子 高橋真人 高橋容子 野木晃子 高谷三郎 中沢譲 栗山文昭 佐久間美千子 青木道代 斎藤隆子 中山拓治 西島光代 増田典子 小島良一 與那城初穂 長谷三知子 小林休 合田佳子 矢柳かほり 辻澤悦美 ライアン・フルイチ・フong 漬物茶屋たけちょう 片岡公子 平岡昭子

■団体

鎌倉恩寵教会 東洋英和福島の子ども支援プロジェクト「虹の橋募金」 ぶどうの木保育園 若松聖愛幼稚園 上岩出診療所 兵庫県南部大地震ボランティアセンター それぞれの宮澤賢治展 日本福音ルーテル稷台教会 ひばりが丘教会 横浜英和学院 花巻教会婦人会 喜多方教会 東所沢教会 岩国教会 福島移住女性支援ネットワーク 元江別わかば幼稚園 茅ヶ崎堤伝道所 “東京教区南支区東日本大震災被災地救援活動委員会” 久ヶ原教会 会津マスケワイア 箕面教会 福岡女学院教会女性の会 藤沢大庭教会 神戸教会「放射能から子どものいのちを守る募金」 千里聖愛教会 震災支援グループ麦の会 アルタデナ教会・モンテペロ教会・LA地域の教会員 保育所同盟京都地区 奥沢教会

■支援品

榮まり子 中村純子 東林寺ファミリー 札幌北部教会 太平子どもの家 札幌北光教会 Altadena Community Church 認定こども園室蘭めばえ幼稚園 太平こどもの家 後藤にこ 利別教会 熊野ナオミ 千歳栄光教会 九州ラバーズ鳥栖・牧瀬 藤木繁美 山崎知行 愛光保育園

～編集後記～

会津は11月に一回は雪が降るものですが今年は降りませんでした。「ぎゅっと寒くならないと白菜の甘味が乗らない」と農家の方。温かいのは嬉しいけれど美味しい鍋は食べたい。矛盾に生きる私です。(朋)